

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道文化服装専門学校
設置者名	学校法人谷内学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数		省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	ファッションクリエイト学科	夜・通信	ファッションデザインコース	1,640	160	
		夜・通信	ファッション技術コース	1,590	160	
		夜・通信	ファッションビジネスコース	1,080	160	
	ファッション研究科	夜・通信		780	80	
(備考)						

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道文化服装専門学校
設置者名	学校法人谷内学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	札幌市助役、 札幌市建設局長	R2.6.1～ R6.5.31 (4年)	学校運営、企画等
非常勤	教員、幼稚園園長	R2.6.1～ R6.5.31 (4年)	豊富な教員の経験を 活かし、教員の指導
非常勤	高等学校教員、校長 教育委員会	R2.6.1～ R6.5.31 (4年)	豊富な教員の経験を 活かし、教員の指導
非常勤	航空自衛隊	R2.6.1～ R6.5.31 (4年)	豊富な教員の経験を 活かし、教員の指導
非常勤	学校法人 前事務長	R2.6.1～ R6.5.31 (4年)	学校運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道文化服装専門学校
設置者名	学校法人谷内学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>例年、3月と11月に開催される教育課程編成委員会において、授業内容や配分時間数等の検討をおこなっている。新年度のシラバスとしては、11月に開催された教育課程編成委員会の後、そこで検討された内容を学校長及び教員で構成するカリキュラム編成委員会において、カリキュラム編成の参考にして、新年度のシラバスが決定する。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期と後期ごとに年2回、各期末に実施する。</li> <li>・やむを得ない事情で受験できなかった者には、追試験を実施する。追試験の評点上限は、80点とする。</li> <li>・期末試験で不合格になった者には、再試験を実施する。再試験の評点上限は、60点とする。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の成績は、100点法で評価し、60点以上で合格とし、科目認定する。</li> </ul> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td colspan="3">100点方式の素点</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>90～100点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>80～89点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>70～79点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>60～69点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>59点以下</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td></td> <td>受講認定</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Functional (ファンクショナル) GPA を用いて算出する。  <math>G P = (100 \text{ 点満点の成績素点} - 54.5) \div 10</math> ただし、<math>G P &lt; 0.5</math> は <math>G P = 0</math> とする。</li> <li>・成績の分布状況を把握する手法としては、各科目の評点をグレードポイント (GP) に換算し、全科目で集計し、それにより成績が下位4分の1に該当する評点及び人数を明確化する。</li> </ul>		100点方式の素点			S	90～100点	合格	A	80～89点	合格	B	70～79点	合格	C	60～69点	合格	D	59点以下	不合格	P		受講認定
100点方式の素点																						
S	90～100点	合格																				
A	80～89点	合格																				
B	70～79点	合格																				
C	60～69点	合格																				
D	59点以下	不合格																				
P		受講認定																				
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>																					
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則に定める修業年限以上在学していること</li> <li>・教育課程に定められた科目すべてを履修・修得し、その他単位が認定されていること</li> <li>・学費を完納していること</li> <li>・判定会議を経て、学校長が適当と認めた者が、進級及び卒業となる。</li> </ul>																						
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>																					

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道文化服装専門学校
設置者名	学校法人谷内学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>
財産目録	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>
事業報告書	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html">https://h-bunka.ac.jp/disclosure.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【ファッションクリエイト学科 ファッションデザインコース】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション クリエイト学科 ファッションデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,400 単位時間/単位	573 単位時間 /単位	380 単位時間 /単位	949 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	498 単位時間 /単位
			2,400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		49人	0人	8人の内数	24人の内数	32人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会において授業内容、配分時間数等の検討を行い、検討された内容をカリキュラム編成委員会が参考にして、新年度のシラバスを決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期と後期ごとに年2回、各期末に試験を実施する。学科の成績は100点法で評価し、60点以上で合格とし科目認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定基準は①学則で定める修業年限以上在学していること。②教育課程に定められた科目すべてを履修・修得し、その単位が認定されていること。③学費を完納していること。④判定会議を経て、学校長が適当と認めた者。
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	7人 ( 33.3%)	5人 ( 23.8%)	9人 ( 42.9%)
（主な就職、業界等） 服飾関係企業（洋服販売店、縫製工場等）			
（就職指導内容） 就職担当教員の他にクラス担任が常時学生の就職相談にのっている。 開校以来の長い伝統による各企業とのネットワークをもとに、インターンシップや企業の採用担当者を招いての学内説明会等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、洋裁技術検定、パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、色彩検定、教員能力検定、販売士検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
50人	0人		0%
内訳			
コース名	在籍	中退	
ファッションクリエイト学科ファッションデザ インコース1年	29人	0人	0%
ファッションクリエイト学科ファッションデザ インコース2年	21人	0人	0%
（中途退学の主な理由）			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどのように将来につながるかアドバイスする。			

【ファッションクリエイト学科 ファッション技術コース】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション クリエイト学科 ファッション技術コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,400 単位時間/単位	597 単位時間 /単位	366 単位時間 /単位	831 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	606 単位時間 /単位
			2,400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		26人	0人	8人の内数	24人の内数	32人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会において授業内容、配分時間数等の検討を行い、検討された内容をカリキュラム編成委員会が参考にして、新年度のシラバスを決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期と後期ごとに年2回、各期末に試験を実施する。学科の成績は100点法で評価し、60点以上で合格とし科目認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定基準は①学則で定める修業年限以上在学していること。②教育課程に定められた科目すべてを履修・修得し、その単位が認定されていること。③学費を完納していること。④判定会議を経て、学校長が適当と認めた者。
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	2人 ( 50%)	2人 ( 50%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 服飾関係企業（洋服販売店、縫製工場等）			
（就職指導内容） 就職担当教員の他にクラス担任が常時学生の就職相談にのっている。 開校以来の長い伝統による各企業とのネットワークをもとに、インターンシップや 企業の採用担当者を招いての学内説明会等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、洋裁技術検定、 パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、色彩検定、 教員能力検定、販売士検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
25人	1人		4.0%
内訳			
コース名	在籍	中退	
ファッションクリエイト学科ファッション技術コース1年	18人	1人	5.5%
ファッションクリエイト学科ファッション技術コース2年	7人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 学校生活の不適合			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどの ように将来につながるかアドバイスする。			



【ファッションクリエイト学科 ファッションビジネスコース】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション クリエイト学科 ファッションビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,400 単位時間/単位	986 単位時間 /単位	352 単位時間 /単位	415 単位時間 /単位	3 単位時間 /単位	644 単位時間 /単位
			2,400 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		22人	0人	8人の内数	24人の内数	32人の 内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程編成委員会において授業内容、配分時間数等の検討を行い、検討された内容をカリキュラム編成委員会が参考にして、新年度のシラバスを決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期と後期ごとに年2回、各期末に試験を実施する。学科の成績は100点法で評価し、60点以上で合格とし科目認定する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定基準は①学則で定める修業年限以上在学していること。②教育課程に定められた科目すべてを履修・修得し、その単位が認定されていること。③学費を完納していること。④判定会議を経て、学校長が適当と認めた者。
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	6人 (54.5%)	5人 (45.5%)
（主な就職、業界等） 服飾関係企業（洋服販売店）			
（就職指導内容） 就職担当教員の他にクラス担任が常時学生の就職相談にのっている。 開校以来の長い伝統による各企業とのネットワークをもとに、インターンシップや 企業の採用担当者を招いての学内説明会等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、ファッション色彩能力検 定、色彩検定、教員能力検定、販売士検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
31人	0人		0%
内訳			
コース名	在籍	中退	
ファッションクリエイト学科ファッションビジネスコース1年	18人	0人	0%
ファッションクリエイト学科ファッションビジネスコース2年	13人	0人	0%
（中途退学の主な理由）			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどの ように将来につながるかアドバイスする。			

【ファッション研究科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション 研究科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1,200 単位時間/単位	250 単位時間 /単位	183 単位時間 /単位	587 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位
			1,200 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		9人	0人	8人の内数	24人の内数	32人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会において授業内容、配分時間数等の検討を行い、検討された内容をカリキュラム編成委員会が参考にして、新年度のシラバスを決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期と後期ごとに年2回、各期末に試験を実施する。学科の成績は100点法で評価し、60点以上で合格とし科目認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定基準は①学則で定める修業年限以上在学していること。②教育課程に定められた科目すべてを履修・修得し、その単位が認定されていること。③学費を完納していること。④判定会議を経て、学校長が適当と認めた者。
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	5人 (55.6%)	4人 (44.4%)
（主な就職、業界等） 服飾関係企業（洋服販売店、縫製工場等）			
（就職指導内容） 就職担当教員の他にクラス担任が常時学生の就職相談にのっている。 開校以来の長い伝統による各企業とのネットワークをもとに、インターンシップや 企業の採用担当者を招いての学内説明会等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、洋裁技術検定、 パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、色彩検定、 教員能力検定、販売士検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
9人	0人		0%
内訳			
コース名	在籍	中退	
ファッション研究科	9人	0人	0%
（中途退学の主な理由）			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどの ように将来につながるかアドバイスする。			

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション デザインコース	120,000 円	540,000 円	155,000 円	維持費 80,000 円、施設費 50,000 円、 教養実習費 25,000 円
ファッション 技術コース	120,000 円	540,000 円	155,000 円	維持費 80,000 円、施設費 50,000 円、 教養実習費 25,000 円
ファッション ビジネスコース	120,000 円	540,000 円	155,000 円	維持費 80,000 円、施設費 50,000 円、 教養実習費 25,000 円
ファッション 研究科	120,000 円	540,000 円	155,000 円	維持費 80,000 円、施設費 50,000 円、 教養実習費 25,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://h-bunka.ac.jp">https://h-bunka.ac.jp</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) よりよい学校経営の実現のため、学内のみならず、学校の運営に関わりのある企業学校関係者から、学校運営に関する様々な意見や提案を頂き、学校の運営の改善に活かすことを目的とする		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
寺院住職、私立学校PTA会長	R5. 4. 1～R7. 3. 31(2年)	近隣関係者
服飾関係企業 経営者	R5. 4. 1～R7. 3. 31(2年)	服飾業界関係者
服飾関係企業 経営者	R5. 4. 1～R7. 3. 31(2年)	服飾業界関係者 卒業生
服飾関係企業 経営者	R5. 4. 1～R7. 3. 31(2年)	服飾業界関係者 卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://h-bunka.ac.jp">https://h-bunka.ac.jp</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 行っていない		

### c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://h-bunka.ac.jp">https://h-bunka.ac.jp</a>
--